

児童朝会 校長の話 10月19・20日

先週1週間、代表委員会の人たちが、朝校門に立って挨拶してくれていました。その1週間は終わりましたが、今週も自主的に門に立ってあいさつをしている人たちがいます。素晴らしいことですね。浅草小学校がよくなるために進んで行動を起こしています。みんなで、元気の挨拶を続けていきましょう。

10月に今年のノーベル賞の受賞者が次々発表されました。ノーベル賞は、人類の幸福や平和のために世界的な偉業を成し遂げた人に贈られる賞です。今年のノーベル平和賞は「国連世界食糧計画」の方々に贈られま

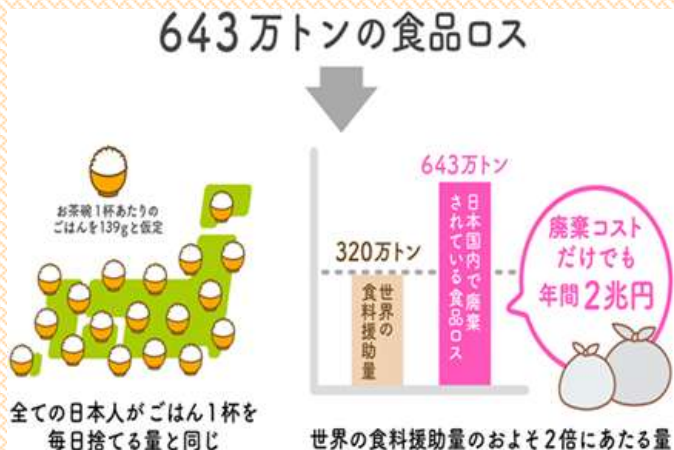


した。この機関は60年前に設立され、世界で食べ物が食べられなくて困っている人たちに、食料を送り続けています。「国連世界食糧計画」は、トラック5600台、船30隻、飛行機100機を使って毎日送っています。



世界で必要最低限の食べ物も食べられない人、つまり一日1食の食事も食べられないのでしょうか、世界でそのような飢餓状態の人は1億5000万人いると言われています。日本の人口が1億2500万人ですから日本の人口より多くの人たちが、満足に食事が食べられない状態です。更に、コロナ感染症の影響で、その数は2億7000万人になっているそうです。

ところで、日本ではまだ食べられるのにたくさんの食べ物が捨てられています。食品ロス



と言います。家庭でも、学校の給食でもレストランやお店でも、食べられるのに残したり余って捨てたりしています。その量は年間 643 万トンです。これは、全ての日本人がごはん 1 杯を毎日捨てている量と

同じです。そして、世界全体が食べ物の食べられない人たちに援助している食料の 2 倍に当たります。

私たちは豊かな生活を送っているので、何日も食べ物が食べられないと言うことはほとんど無いと思います。けれども、食べ物があることに感謝して、好き嫌い無く食べたり、必要以上に多く買ったり注文したりしないで、食べ物を大切にしていきたいです。